

フェアストン錠 40

【この薬は？】

販売名	フェアストン錠 40 Fareston Tablets 40
一般名	トレミフェンクエン酸塩 Toremifene citrate
含有量 (1 錠中)	59.0mg [トレミフェンとして 40.0mg]

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、乳がん治療薬のうちホルモン療法剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、主に乳がん細胞のエストロゲン受容体に作用し、がん細胞が増殖するのを抑えます。
- ・次の病気の人に処方されます。

閉経後乳癌

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・妊婦または妊娠している可能性がある人、授乳中の人（動物実験で胎児の死亡、発育遅延、内臓・骨格異常、出生児の生殖障害、妊娠維持および分娩

への障害などが認められたとの報告や乳汁への移行が認められたとの報告があります。)

- ・心電図にQT延長がある、または過去にあった人
- ・低カリウム血症の人
- ・抗不整脈薬(キニジン、プロカインアミド、アミオダロン、ソタロールなど)を使用している人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・骨髄抑制（貧血、白血球減少、血小板減少）のある人
- ・重い徐脈などの不整脈、心筋虚血などの不整脈をおこしやすい人

○この薬には併用してはいけない薬[抗不整脈薬(キニジン、プロカインアミド、アミオダロン、ソタロールなど)]や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

○この薬を使用する前に妊娠していないことが確認されます。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

一回量	1錠
飲む回数	1日1回

〔すでに薬物療法や放射線療法をうけたことがある場合〕

一回量	3錠
飲む回数	1日1回

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。気がついた時に、1回分を飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・閉経初期の人が使用する場合は、妊娠への影響について説明を受けるとともに、ホルモン剤(ピルなど)以外の方法で避妊し、妊娠がわかった場合や妊娠の可能性のある場合にはただちに飲むのをやめて、医師に相談してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人はこの薬を使用できません（動物実験で胎児の死亡、発育遅延、内臓・骨格異常、出生児の生殖障害、妊娠維持および分娩への障害などが認められとの報告があります）。
- ・授乳中の人はこの薬を使用できません（動物実験で乳汁への移行が認められたとの報告があります）。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬

を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
血栓塞栓症 けっせんそくせんしょう	吐き気、嘔吐(おうと)、脱力、まひ、激しい頭痛、胸の痛み、押しつぶされるような胸の痛み、突然の息切れ、激しい腹痛、お腹が張る、足の激しい痛み
静脈炎 じょうみやくえん	押すと痛い、痛み、下肢のはれ
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる
子宮筋腫 しきゅうきんしゅ	月経時の出血が増える、月経痛、月経時以外の性器からの出血、月経期間が長引く、貧血

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	脱力、まひ、押すと痛い、痛み、疲れやすい、体がだるい、力が入らない、食欲不振、体がかゆくなる、貧血
頭部	激しい頭痛
眼	白目が黄色くなる
口や喉	吐き気、嘔吐
胸部	胸の痛み、押しつぶされるような胸の痛み、突然の息切れ
腹部	激しい腹痛、お腹が張る
手・足	足の激しい痛み、下肢のはれ
皮膚	皮膚が黄色くなる
尿	尿の色が濃くなる
生殖器	月経時の出血が増える、月経痛、月経時以外の性器からの出血、月経期間が長引く

【この薬の形は？】

P T Pシート	
形状	白色の錠剤（裸錠） 
直径	7.5 mm
厚さ	3.2 mm
重さ	0.14 g
色	白色
識別コード	NK 7 1 0 4

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	トレミフェンクエン酸塩
添加剤	トウモロコシデンプン、乳糖水和物、ポビドン、デンプングリコール酸ナトリウム、セルロース、ステアリン酸マグネシウム、無水ケイ酸

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：日本化薬株式会社 (<https://www.nipponkayaku.co.jp/>)

くすりの相談窓口

電話：0120-656-216

受付時間：9時～17時30分

（土・日・祝日及び弊社休業日を除く）